



# 石巻西高実況中継

～学校の情報や生徒の様子をリアルタイムで家庭に届けます～

平成28年10月19日 第36号

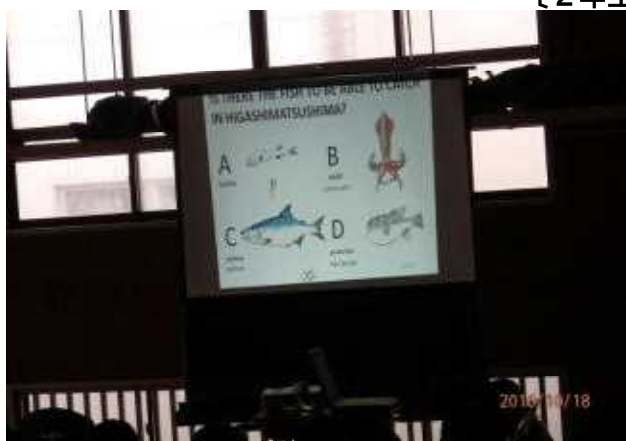
発行者：校長 伊藤 俊

## 第2回国際理解講演会 ～JICA東北国際協力出前講座～

〔1年生：講堂〕



〔2年生：武道館〕



10月18日（火）7校時1，2年生を対象に「国際理解講演会」が行われました。テーマは『貢献』。

1年生は講師に JICA 東北東松島地域復興推進員秋山さんと齋藤さんをお招きし、エチオピアやルワンダでの活動経験から大変興味深い講話をいただきました。西高1年生約200人がエチオピアの村だったらどうするか。読み書きができない人への接し方等具体的に教えていただき、あっという間に50分が過ぎていきました。国際貢献の第一歩は「近所で困っている方への支援」というまとめの言葉が大変印象に残りました。「グローバルに考え、ローカルに行動する」姿勢が大切なのです。

2年生の講師に東松島みらいとし機構「HOPE」の伊東さんとインドネシアから東松島市相互復興プロジェクト研修員のマウリアンさんとマウラナさん、通訳に東北大のアリマンシャルさんをお迎えし、アクティビティを交えて楽しい講演会でした。英語で言う「氷魚」が白魚、「地球魚」がフグというアクティビティは、ほんの少しの英語力と想像力があれば、インドネシアの方々ともコミュニケーションをとることができると実感しました。インドネシアの民族衣装「サロン」は袋を意味していて、実際に西高2年生が実演させてもらいました。2004年のスマトラ島、2011年の東日本それぞれ大震災を経験した者同士、共感できる部分も多く、特に最後の漁業でインドネシア、日本双方で貢献している研修員のマウリアンさんとマウラナさんからの共通のメッセージ「希望を持って自分と家族と国を大切にしてください。」は心に響きました。

11月15日（火）専修大をお借りして行われる「国際フォーラム in 石巻西高」まで1ヶ月を切りました。近々実況中継でも紹介しますが、海外から当日発表予定の要約原稿も届き、準備も佳境を迎えようとしています。今月末には事前学習も始まります。一人一人が主体的に、かつ協働的に目標をもって取り組んでください。皆さんには無限の可能性が 있습니다。頑張れ西高生！